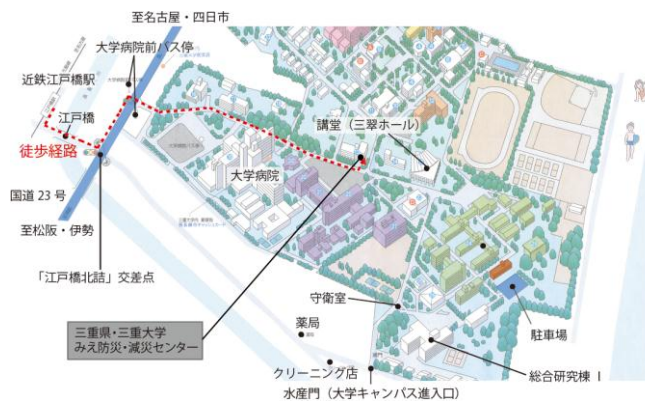


アクセスマップ



- 近鉄名古屋線・JR 東海紀勢本線「津駅」下車／バスにて 10 分
- 近鉄名古屋線・JR 東海紀勢本線「津駅」下車／タクシーにて 10 分
- 近鉄名古屋線「江戸橋駅」下車／徒歩にて 10 分
- 伊勢自動車道「津 I.C.」／車にて 15 分

〒514-8507
 三重県津市栗真町屋町 1577
 三重大学社会連携研究センター 3階
 TEL 059-231-5694 FAX 059-231-9954
 e-mail : bosai@crc.mie-u.ac.jp
 ●市町・企業・防災人材等による防災対策の相談受付
 専用電話：059-231-5486
 専用メールアドレス：soudan@crc.mie-u.ac.jp

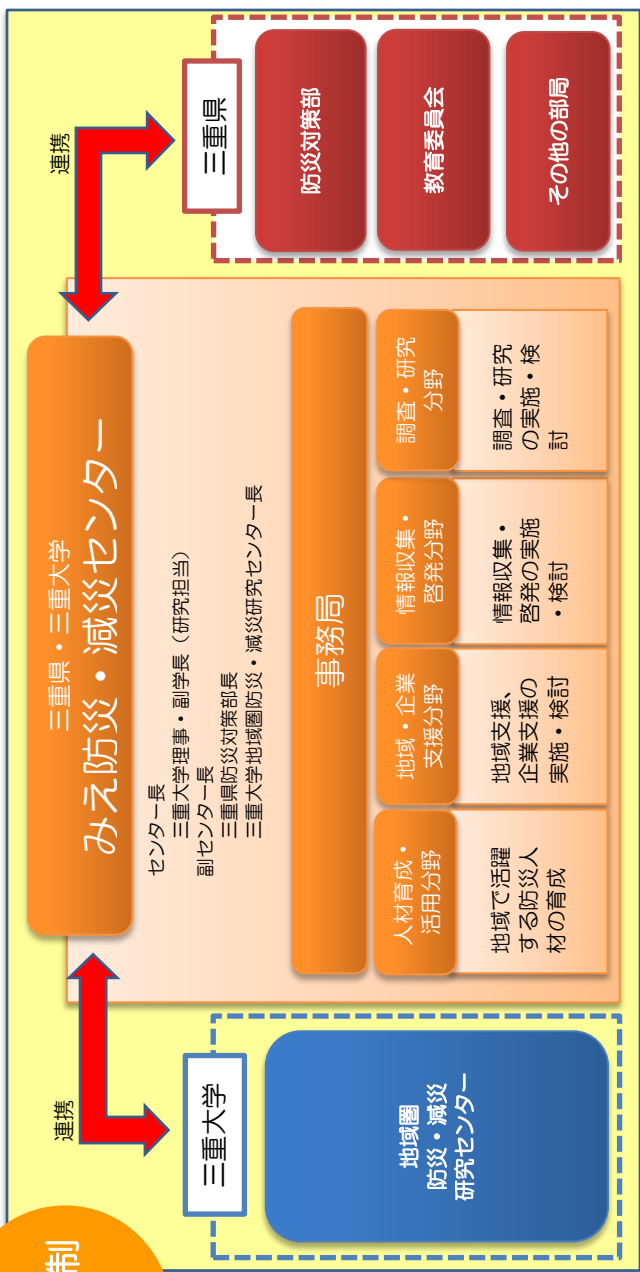
mie disaster mitigation center



三重県・三重大学
みえ防災・減災センター



実施体制



事務局

調査・研究分野
 調査・研究の実施・検討

情報収集・啓発分野
 情報収集・啓発の実施・検討

地域・企業支援分野
 地域支援、企業支援の実施・検討

人材育成・活用分野
 地域で活躍する防災人材の育成

三重県・三重大学
みえ防災・減災センター
 センター長
 三重大学理事・副学長（研究担当）
 副センター長
 三重県防災対策部長
 三重大学地域圏防災・減災研究センター長

三重大学

地域圏
 防災・減災
 研究センター

連携

連携

三重県

防災対策部
 教育委員会
 その他の部局

三重県と国立大学法人三重大学は、平成26年4月1日に、「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター設置に関する協定」を締結しました。

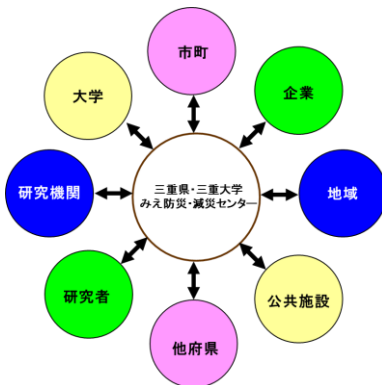
この協定に基づき、県と三重大学が相互に連携・協力し、防災に関する人材育成・活用、地域・企業支援、情報収集・啓発、調査・研究等に取り組み、三重県における地域防災力の向上に資することを目的に、「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」を設置しました。

連携・参画
イメージ



連携・参画

「防災ハブ機能」
イメージ



三重県・三重大学
みえ防災・減災センターの
めざすもの

・「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」への市町や企業、県内他大学の参画を進め、県内外の研究機関等と連携することで、シンクタンク機能を持ちながら地域の防災・減災対策を実践できる、センターをめざします。

・実践的なカリキュラムの構築、大学教員等によるOJT、育成者のネットワーク強化などに取り組み、「地域に信頼される防災人材」を育成することで、現場での人材活用や地域の防災活動への参画を促進します。

・防災対策・防災学習・防災研究に役立てるため、県内における防災・減災に関する様々な情報を収集することで、防災・減災アーカイブを構築し、県における防災の知の拠点をめざします。

・みえ防災・減災センターが、三重県と三重大学の持つ強みを活かし、県内の市町、大学、企業、地域などを結びつける「防災ハブ」としての機能を持ちながら、各々の機関の連携を促進します。

事業展開

人材育成・活用

- 「即戦力としての活用を目指した育成」
- ・新たなプログラムによる防災人材の育成（みえ防災さきもりコース、みえ防災コーディネーターコース、みえ防災聴講コース）
 - ・実践的カリキュラムによる市町職員、教員、女性専門職、自主防災組織リーダーの育成
 - ・学校防災リーダーの育成
- 「人材資源の発掘と活用」
- ・地域活動や研究分野で活躍する人材と場のマッチング
 - ・県内の大学等における人的リソースの発掘

地域・企業支援

- 「防災相談窓口の設置と多様な主体の交流の促進」
- ・市町・企業・地域等が活用できる相談窓口の設置と交流スペースの提供
 - ・市町の災害対応向上に向けた支援
 - ・みえ企業等防災ネットワークと連携したBCP策定支援等の企業支援
 - ・DONET(地震・津波観測監視システム)の避難対策等への活用に向けた研究

情報収集・啓発

- 「県民の防災意識の向上と、新たな 防災・減災対策の展開」
- ・防災・減災アーカイブの構築
 - ・防災に関する様々な資料を収集・整理・公開
 - ・「みえ風水害対策の日」、「みえ地震対策の日」などにおける防災啓発イベント企画・実施

調査・研究

- 「行政と研究機関が一体となった実践的な調査及び研究を実施」
- (例)
- ・津波痕跡・教訓の発掘
 - ・誰にでも伝わりやすい避難誘導看板等の研究
 - ・災害時要援護者の避難支援用具の開発